

BCCP策定7割どまり

大企業コロナで計画発動も

防災白書

自然災害や感染症拡大
P策定済みの企業の37・5%が新型コロナウイルス
画を発動したと回答。担
画を発売したと回答。担
ナや大規模災害の頻発な

ど企業を取り巻くリスクが増え、策定の動きが活発になってきている」と分析している。
BCPは重要業務の継続や早期復旧が目的。システムのバックアップ、設備が被害を受けた場合の対策、交代勤務体制などを定める。

策定済みの大企業は、2021年度で70・8%だったことが10日、内閣府の調査で分かった。政府は当初「20年度までにほぼ100%」を目指していたが届かず、昨年、達成期限を25年度に先送りした。この日閣議決定した22年版防災白書に盛り込んだ。

調査は隔年で今年1、2月に実施。資本金10億円以上の大企業と10億円未満の中堅企業それぞれ約600社ずつの回答を集計した。

大企業は前回の19年度から2・4ポイントの微増。中堅企業は5・8ポイント増の40・2%だが、当初目標の50%には届かなかった。

「策定中」を含めると、大企業は85・1%、中堅企業は51・9%だった。内閣府によると、BC